



令和6年6月19日 14時00分

資料配布 近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所

## 第24回 足羽川ダム建設事業推進協議会の結果概要について

足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため、協議会を開催しました。協議会の結果概要は、別紙のとおりです。

<取扱い>

<配布場所>

福井県政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所	副所長	じんご 神後	まさふみ 雅文	
	事業対策官	おおいわ 大岩	ひとし 仁志	TEL(0776)27-0642(代表)
福井県 土木部 河川課	参事	やまぎし 山岸	りえ 理恵	TEL(0776)20-0483
池田町 ダム対策室	室長	やまざき 山崎	まさみ 政弥	TEL(0778)44-8005

## 第 24 回 足羽川ダム建設事業推進協議会 結果概要

日 時：令和 6 年 6 月 1 9 日（水）9:30～10:30

場 所：福井県庁 正庁

出席者：	近畿地方整備局	河川部長	つねやま 常山	しゅうじ 修治
	福井県	土木部長	たなか 田中	かつなお 克直
	池田町	副町長	みぞぐち 溝口	じゅん 淳

### 【目的】

『足羽川ダム建設事業推進協議会』は、足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため平成 18 年 10 月 10 日の基本協定の締結をもって設置されたものである。

本日の第 24 回協議会は、足羽川ダム建設事業の進捗等を議題として開催したものである。

### 【協議会概要】

- ダム建設事業および水源地域対策の進捗状況について確認した。

### 【協議内容】

〈足羽川ダム建設事業の進捗について〉

- 足羽川ダム建設事業の進捗について、ダム本体建設工事・水海川導水トンネル工事・水海川分水施設関連工事・付替道路工事等の工期に遅れがないこと及び令和 5 年度に変更した事業費内で進捗が図れていることを国より報告。
- 事業進捗管理及びコスト縮減の取り組みについて、引き続き徹底を図り、一日も早い完成を目指して着実に事業を推進していくことを確認した。

〈足羽川ダム建設事業に係る地域振興策の進捗について〉

- 地域振興策の取り組み状況について県および町より報告され、着実な事業の進捗に向け三者が協力していくことを確認した。

〈国からの報告事項に対する福井県の要請〉

- 引き続き、コスト縮減の取り組みや事業費等監理の徹底をお願いした。

〈国からの報告事項に対する池田町の要請〉

- 脱炭素社会実現への協力をお願いした。
- 地域振興策について、計画通り着実な進捗をお願いした。

＜第24回＞  
足羽川ダム建設事業推進協議会

令和 6年6月19日（水）  
9時30分～10時30分  
福井県庁 正庁

会 議 次 第

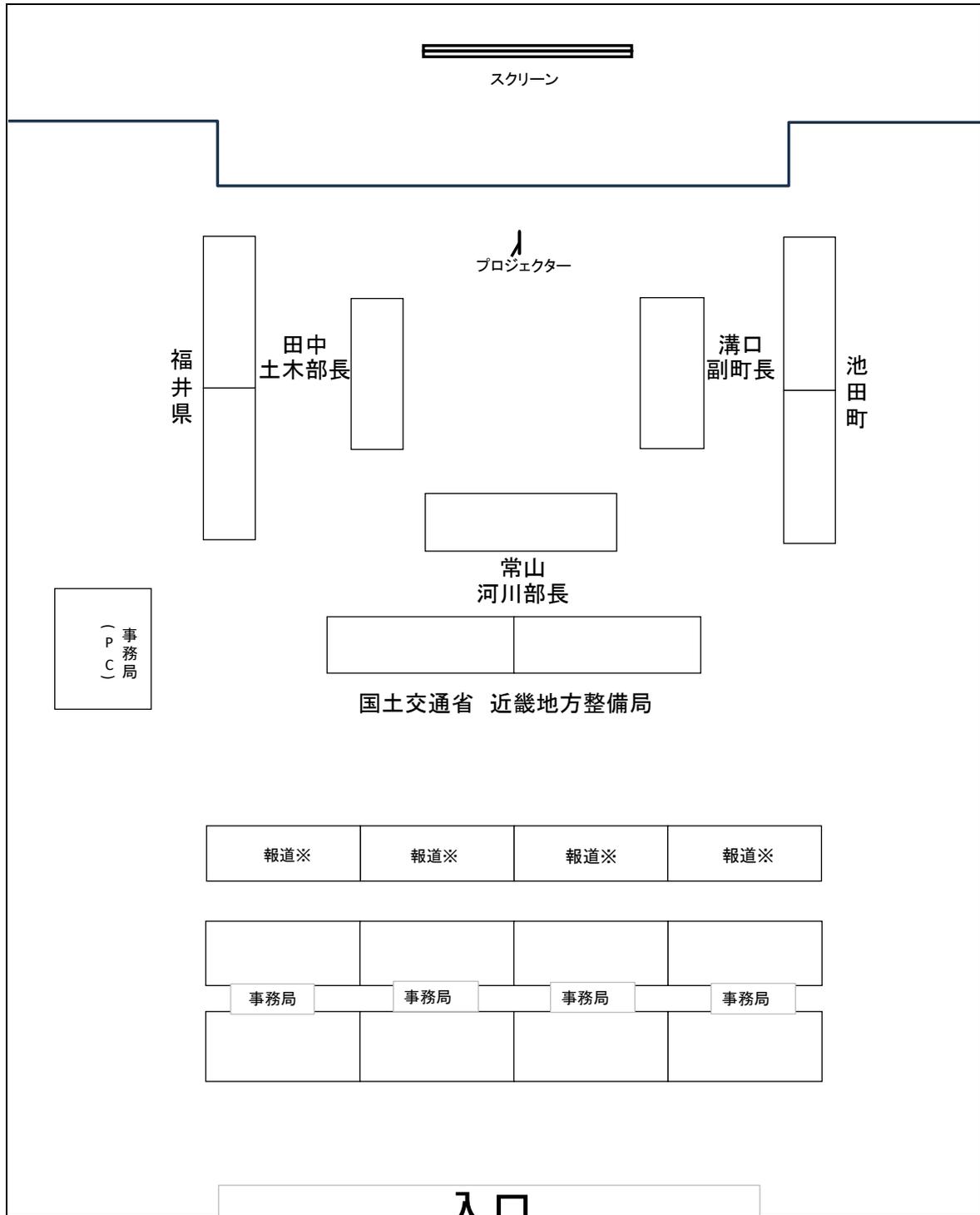
1. 開 会
2. 挨 拶
3. 議 事
  - (1) 足羽川ダム建設事業の進捗について（資料1, 2）  
・・・・・・・・・・ 国交省説明
  - (2) 足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について（資料3）  
・・・・・・・・・・ 県・町説明
  - (3) その他
4. 閉 会

資料一覧

- |       |                        |
|-------|------------------------|
| 資料1、2 | 足羽川ダム建設事業の進捗状況         |
| 資料3   | 足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について |

# 第24回 足羽川ダム建設事業推進協議会(配席図)

福井県庁 正庁



※報道機関は、頭取まで

# 足羽川ダム建設事業の進捗状況

## 1. 事業計画

### ① 工事計画関係

- ・令和6年度予算：約182.34億円。
- ・ダム本体建設工事に着手（令和2年11月）。
- ・ダム本体堤体打設開始（令和4年10月）。
- ・ダム本体、水海川導水トンネル、水海川分水施設関連工事及び付替道路工事等を引き続き実施。

### ② 環境アセスメント

- ・『足羽川ダム環境モニタリング委員会』により、環境モニタリング計画を審議。  
（第1回：平成26年3月14日、第2回：平成27年2月25日、第3回：平成28年3月9日、  
第4回：平成29年3月8日、第5回：平成30年3月15日、第6回：平成31年3月14日、  
第7回：令和2年3月19日、第8回：令和3年3月18日、第9回：令和3年12月8日、  
第10回：令和4年3月18日、第11回：令和5年3月16日、第12回：令和6年3月13日）
- ・今年度も引き続き、環境調査（モニタリング調査）を継続実施する。

## 2. 生活再建対策

### ① 用地補償関係

- ・平成25年8月下旬より、土地、物件調書の確認が終了した地権者に対し、補償金額を提示し、契約締結を開始。
- ・令和3年3月末現在で、家屋の移転を伴う68戸全ての移転を完了。事業用地買収は全体面積の約99%の進捗。
- ・事業認定の告示（令和3年3月16日）。土地明渡し、登記完了（令和4年2月20日）。
- ・今年度も引き続き、未買収地等の補償交渉を実施する。

### ② 代替地関係

- ・池田町内の集団移転地については、平成26年11月に2戸全ての移転契約を完了。  
（平成27年12月に完成）
- ・福井市内の集団移転地については、平成28年7月に6戸全ての移転契約を完了。  
（平成30年12月に完成）

### ③ 公共補償について、平成30年3月に池田町と全ての契約を完了。

## 3. 地域振興策

- ・第12回足羽川ダム建設推進協議会（平成26年10月17日開催）にて、池田町の地域振興策について、国、福井県、池田町で協定締結。
- ・平成27年3月11日、水源地域整備計画が決定。
- ・令和4年7月19日、地域活性化施策の実施に関する変更協定締結
- ・現在地域振興策が各事業主体により実施中。

## 4. その他

### ① 不当要求行為関係

- ・事業の円滑な推進や関係者の安全の確保を図るため、福井県警察本部などの関係機関と連携し「足羽川ダム建設事業に関する不当要求行為等対策連絡会」を開催。  
（第1回：平成26年4月22日、第2回：平成27年5月22日、第3回：平成28年5月24日、  
第4回：平成29年5月25日、第5回：平成30年6月1日、第6回：令和元年5月24日、  
第7回：令和2年8月5日、第8回：令和3年6月24日、第9回：令和4年7月25日、  
第10回：令和5年6月15日）

### ② 工事現場の安全・衛生・環境保全について

- ・事業区域内で大小様々な規模の工事を重複して進捗している中、工事現場の安全・衛生・環境保全に関する委員会を設立（第1回：平成30年8月22日、第2回：平成30年11月1日、  
第3回：令和元年10月25日、第4回：令和2年11月6日、第5回：令和3年12月3日、  
第6回：令和4年12月8日）。

### ③ 広報関係

- ・インフラツーリズムの推進

## 第24回

# 足羽川ダム建設推進協議会資料 (足羽川ダム建設事業の進捗状況)

令和6年6月19日

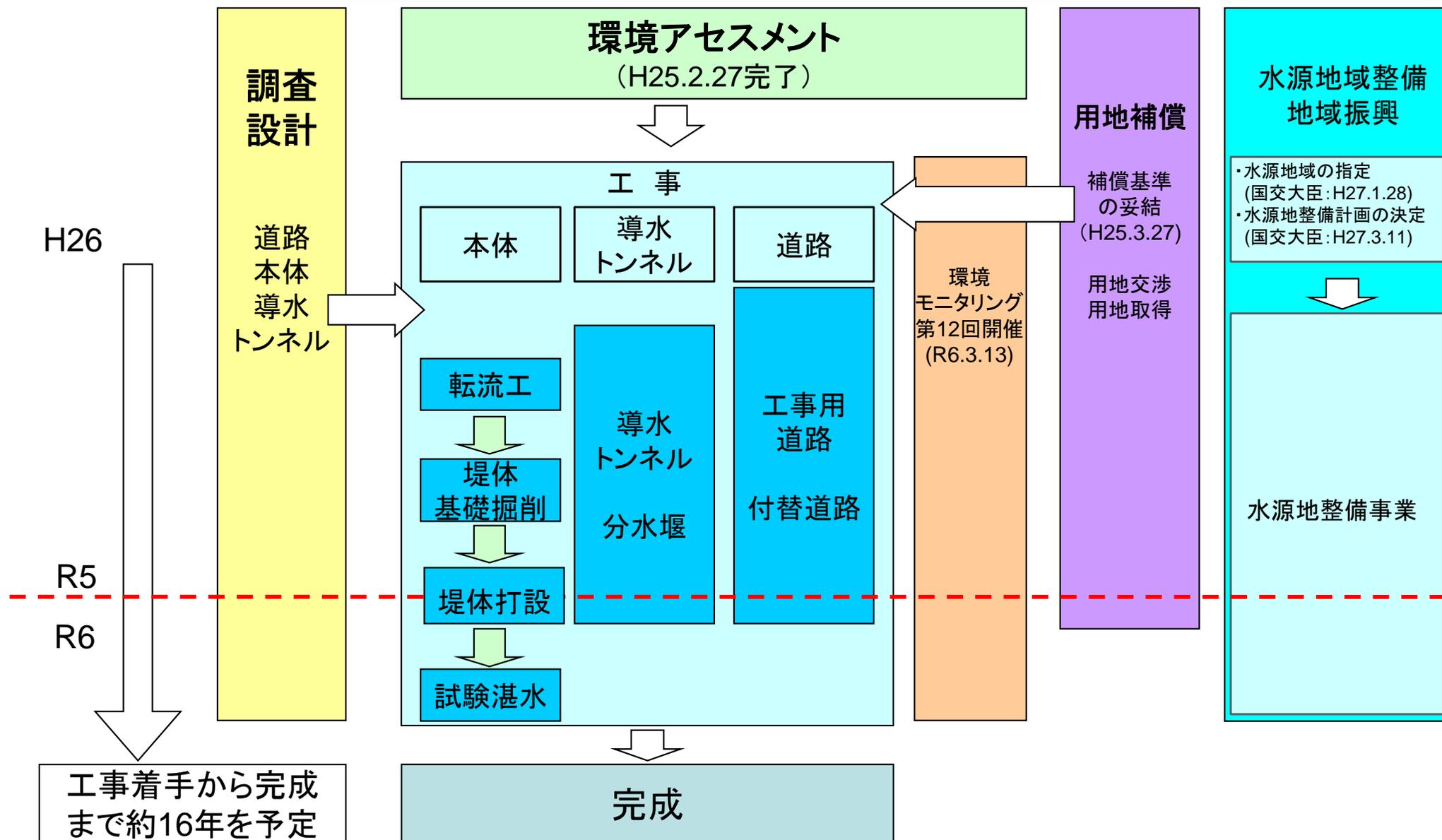
足羽川ダム工事事務所





平成17年度 九頭竜川水系河川基本方針策定  
平成18年度 九頭竜川水系河川整備計画策定

平成20年度  
水特法に基づく  
ダム指定





## 事業完了までに要する必要な工期 (案)

:クリティカル

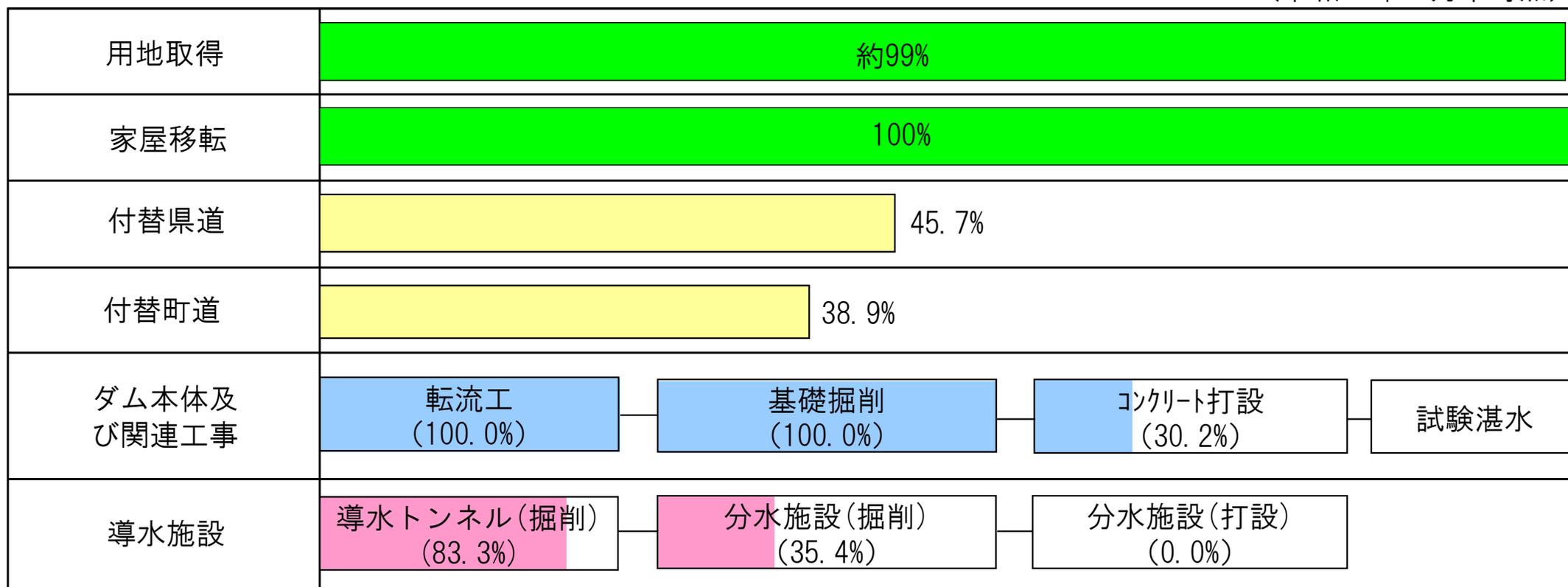
種 別		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
ダム 堤 体 の 工 事	仮排水路トンネル(転流工)																
	ダム本体掘削(堤体基礎掘削工)																
	堤体打設																
	管理設備工・放流設備工																
工事用道路(工事用道路の設置工事)																	
導水トンネル(導水施設(分水堰含む)の工事(部子川～水海川))																	
建設発生土の処理																	
付替道路(道路の付替工事)																	

※今後行う詳細な検討結果や設計成果、予算の制約や入札手続き等によっては、見込みのとおりとならない場合がある。



- 令和6年度は、引き続き事業に必要な用地取得及びダム本体工事、導水トンネル工事、分水施設関連工事及び付替道路工事を実施する。
- 令和2年度までに用地取得の約99%を取得済み。平成30年度に家屋移転は全て完了。  
令和3年3月に事業認定の告示。令和4年2月に土地明渡し、登記完了。

(令和6年5月末時点)



※付替県道・町道の進捗率は、契約ベースによるもの

凡例  用地取得  付替工事  本体関連  導水施設



令和6年度は、約182億円をもって、以下の内容を実施します。

## ■ 用地及び補償費 約 40億

- ・ダム建設に必要な土地の取得等を継続して実施します。
- ・補償工事として付替道路工事を継続して実施します。

## ■ 工事費 約 124億

- ・ダム本体(堤体打設)工事及び原石山の掘削工事を継続して実施します。
- ・水海川導水トンネル工事及び水海川分水施設関連(河床掘削、貯砂ダム)工事を継続して実施します。

## ■ 測量設計費等 約 18億

- ・ダム関連施設(管理設備含む)の設計及び必要となる調査を継続して実施します。
- ・水位・流量観測、雨量観測、河川の水質観測や気象観測、環境モニタリング調査を継続して実施します。

## ダム本体関連工事



(ダム右岸)

(ダム左岸)

ダム本体(下流から上流を望む)



(骨材製造設備)

## 付替県道



付替県道10号橋

## 水海川分水施設



(水海川貯砂ダム)

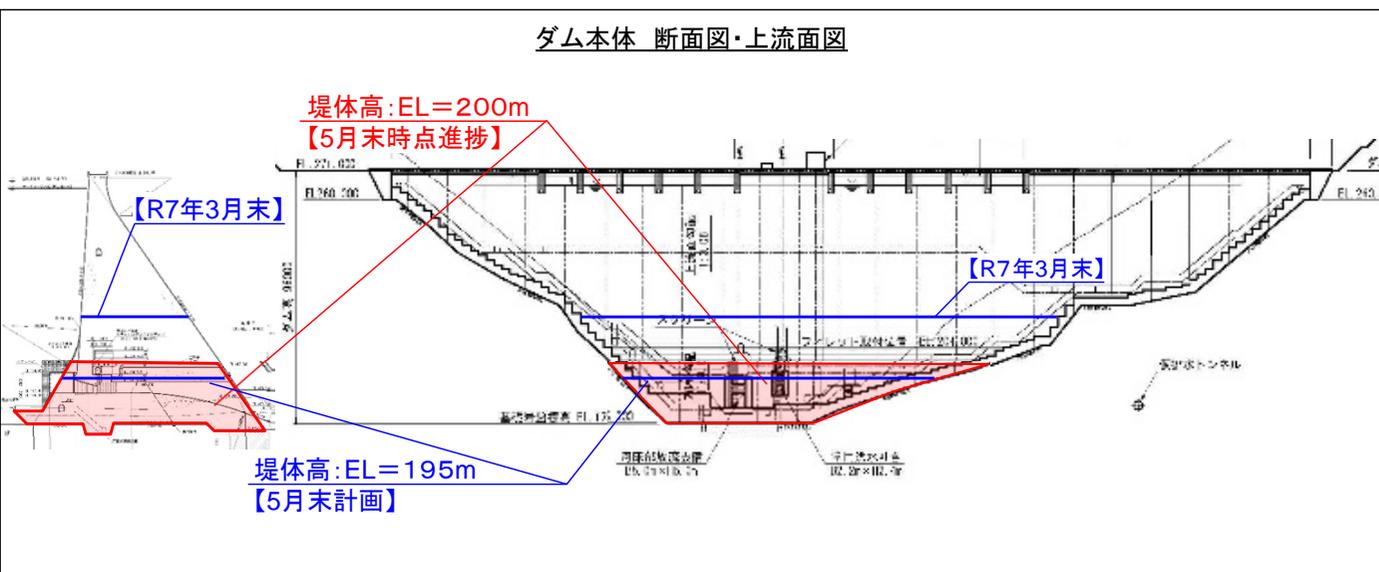
## 導水トンネル



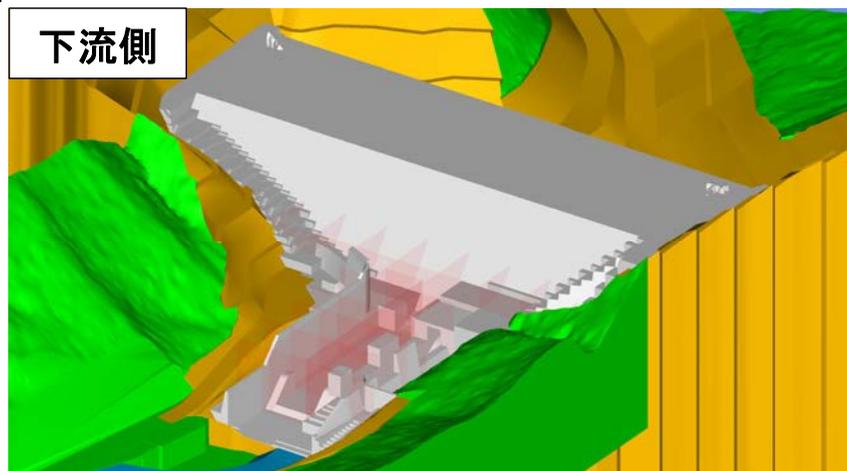
水海川導水トンネル

## ■ 工事内容

令和2年度より、ダム本体建設工事に着手し、令和4年10月に基礎掘削完了、コンクリート打設に着手。令和6年度5月末時点で30.2%まで打設。



## ● 進捗イメージ(CIM)

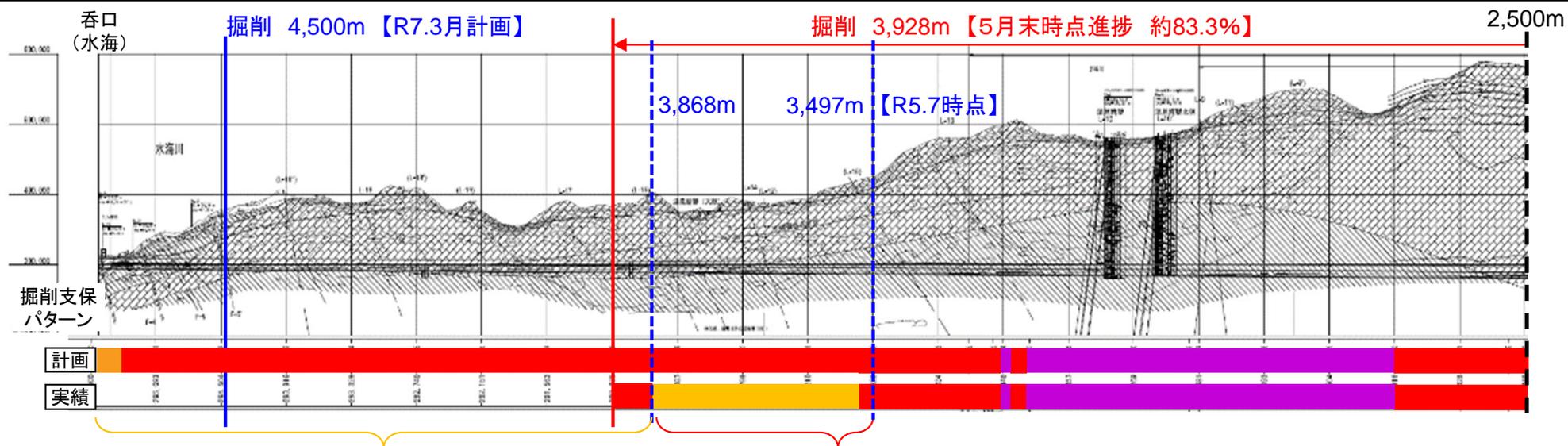


※R6.6時点での計画であり、今後変更になる可能性があります。





○トンネル全延長4,717mに対して、令和6年5月末時点で3,928mまで掘削が進行(約83.3%の進捗)



○3,868m地点よりDⅡになっているが、先行ボーリングの結果より今後地質の改善が見込まれている。

○事業費改定時の計画と比較し、地質が改善しており想定範囲内の地質状況となっている。

○水海川導水トンネル技術検討委員会において、水海川導水トンネルに関する工事に対して、施工の确实性の向上に資するため、委員より技術的な指導、助言を得ている。

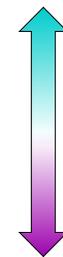
○第5回委員会(令和5年12月5日開催)において、「温見断層の主部以降も、繰り返し出現した破碎帯に対し、湧水対策と脆弱地山対策を併用しながら掘削を進めたことは妥当である。」との意見を頂く。



掘削支保パターン凡例

<span style="color: cyan;">■</span>	CⅠ
<span style="color: lightgreen;">■</span>	CⅡ
<span style="color: orange;">■</span>	DⅠ
<span style="color: red;">■</span>	DⅡ
<span style="color: darkred;">■</span>	DⅢ
<span style="color: magenta;">■</span>	EⅠ
<span style="color: purple;">■</span>	EⅡ

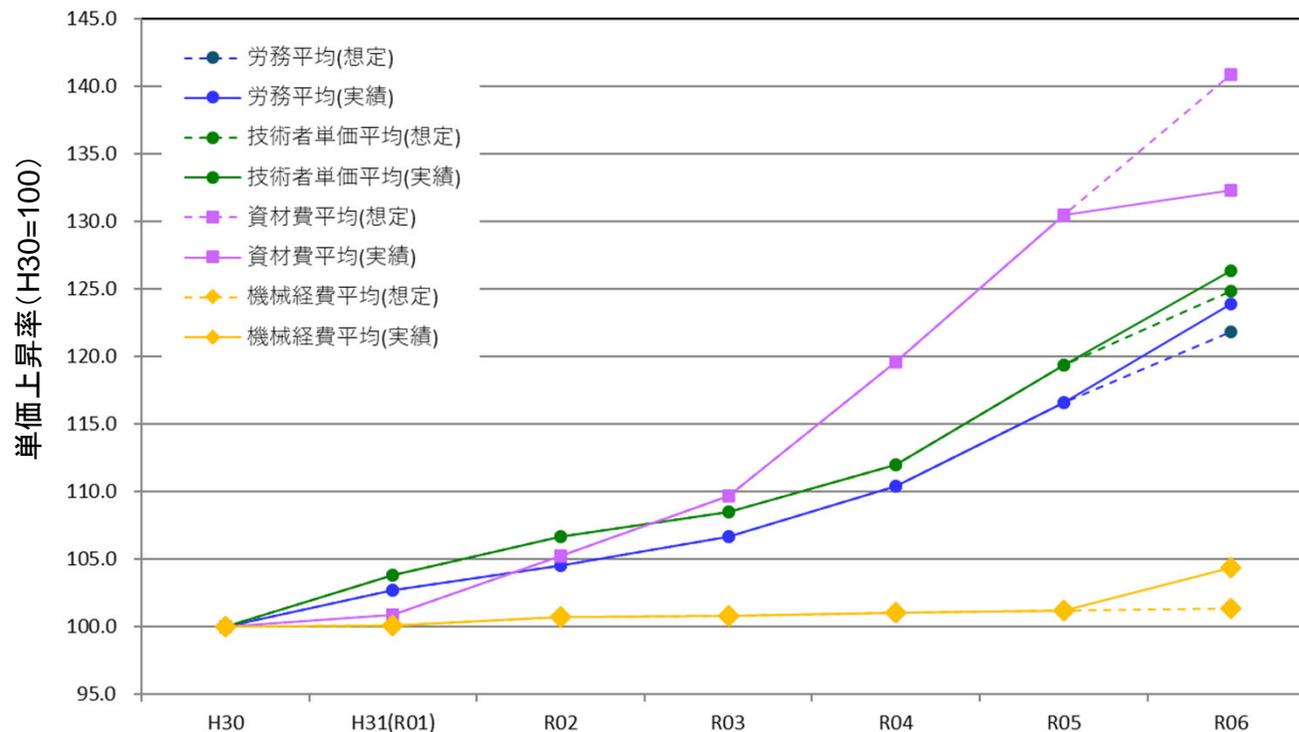
地山の状態が良い



掘削支保パターン

地山の状態が悪い

- R6年度以降も公共工事関連単価は上昇傾向にあり、労務単価・技術者単価・機械経費は事業費改定時想定より上昇率が高いが資材費は横ばいとなっている。



	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
--- 労務平均(想定)	-	-	-	-	-	-	121.9
— 労務平均(実績)	100.0	102.7	104.6	106.7	110.4	116.6	123.9
--- 技術者単価平均(想定)	-	-	-	-	-	-	124.8
— 技術者単価平均(実績)	100.0	103.8	106.7	108.5	112.0	119.4	126.3
--- 資材費平均(想定)	-	-	-	-	-	-	140.9
— 資材費平均(実績)	100.0	100.9	105.2	109.7	119.6	130.5	132.3
--- 機械経費平均(想定)	-	-	-	-	-	-	101.3
— 機械経費平均(実績)	100.0	100.1	100.7	100.8	101.0	101.2	104.4



## 『第12回 足羽川ダム環境モニタリング委員会』の開催 (R6. 3. 13)

### 【モニタリング委員会概要】

開催日: 令和6年3月13日

目的: 足羽川ダム工事の現地着手するにあたり、評価書を踏まえ実施する環境調査や環境保全措置等の内容について、環境面から専門家の意見を伺うことを目的に開催

委員会結果: 令和5年モニタリング調査結果と環境保全措置の内容及び令和6年モニタリング調査計画(案)について、今後の調査及び環境保全措置の実施計画を確認



令和6年  
4月発行  
第35号

## 足羽川ダム NewsLetter ニュースレター

安全で安心できる  
くらしの実現

### 只今、ダム本体(堤体)の コンクリート打設量は約25%です。



令和4年10月からダム本体のコンクリート打設に着手した「足羽川ダム」。令和5年度は足羽川ダムの重要な3つの放流設備「河床部放流設備」「常用洪水吐」「小流量放流設備」が設置され、令和6年3月末時点のコンクリート打設量は168,600m<sup>3</sup>、ダム本体の約25%まで進みました。  
ダム本体建設工事は令和6年度から第2期工事に着手。第2期工事では、RCD工法<sup>※</sup>でコンクリートの打設を開始します。

※RCD工法とは一セメントの量を少なくした超硬練りのコンクリートをブルドーザーで敷出し、振動ローラーで密める工法。



### 足羽川ダムでは夜間もコンクリート打設を行っています。



ダムの建設現場が夜間も工事を行っていることをご存じですか？ダムを早期に完成させ、1日でも早く治水効果を発現させるため、作業は夜間におよぶこともあります。  
現在は多い時で約60人の作業員が日中と同じように働き、RCD工法でコンクリート打設が開始される来年度からは、約100人体制で工事を進めます。漆黒の闇夜に突如現れる巨大なダムの工事現場。中々壮大ですよ。

channel Asuwagawaで貴重映像公開中  
貴重映像はダムサイトから身材製造設備、原石山など、夜の工事現場が一掃できます。足羽川ダムホームページ、又はchannel Asuwagawaでご覧ください。



詳しく足羽川ダムの事業進捗を知りたい方はここまで！

足羽川ダム事業進捗 [channel Asuwagawa](#)

足羽川ダム 事業の進捗状況 [検索](#)

足羽川ダム工事現場の動画がご覧いただけます！

足羽川ダム YouTube [検索](#)

## 足羽川ダム工事現場の魅力をどんどん発信していきます！

足羽川ダム工事事務所ホームページとchannel Asuwagawaで現場の魅力を絶賛公開中です！

### 1 足羽川ダムバーチャル見学会

360°カメラで撮影した工事現場を公開。360°カメラとはその名前のとおり、上下左右前後360°を撮影した、まるでその場にいるような臨場感あふれる風景が見られること。現場で働いている人々が見られない、今だけしか見られない「特別な場所」を撮影しました。  
令和6年度からはRCD工法により、ダムのコンクリート打設が本格的に動き出します。加えて、「付替道路工事」「水堀川導水トンネル工事」も工事のため、バーチャル見学会のコンテンツをもっと追加していく予定です。お楽しみに。

ダムサイト左岸とパッチャープラント  
水堀川導水トンネルの切戻

### 2 channel Asuwagawa 3つの貴重な現場動画をアップしています！

- 足羽川ダム放流設備**  
令和5年度に設置された3つの放流設備の中で常用洪水吐(後期放流設備)が所定の位置に設置されるようすをタイムラプス等で撮影！ダム堤体の中身が見られる貴重映像です。
- 足羽川ダム工事現場まるごと映像**  
今、工事をしているダム本体打設のようすを原石山から身材製造設備、コンクリート打設までをまとめたダム本体建設現場のまるごと映像。巨大重機を自由自在に動かしながら、日夜作業を行う人々の姿をご覧下さい。
- 夜の足羽川ダム工事現場**  
山陰地に突如現れる建設現場は幻想的でもあります。壮大な現場をドローンで撮影した、貴重映像です。

日本最大級 足羽川ダム 貴重映像  
巨大放流設備の動く！

超巨大ダムで働くコンクリート打設の現場  
巨大重機が登場！

夜の山陰部に浮かびあがる建設現場  
巨大ダムの足羽川ダム  
夜間工事の貴重映像

### 足羽川ダムのペーパークラフトをつくりました。

足羽川ダム工事事務所のHPからダウンロードできます！小学生でもできますので、チャレンジして下さいね。

なんと、上流にはダム増も出現！ふだんのダムと洪水時のダム。2つの違いをくらべてね。

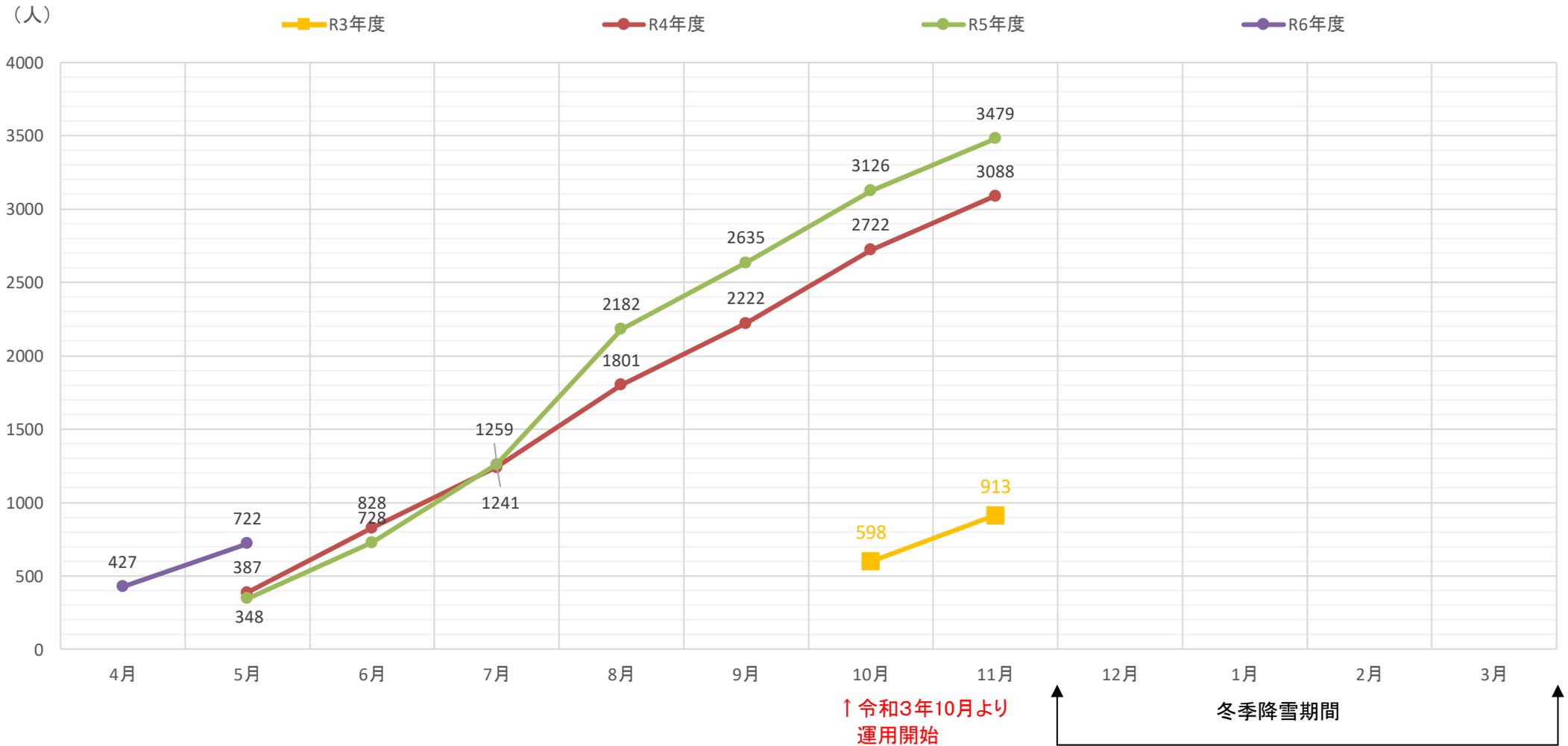
【共同発行元】国土交通省近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所  
福井県木部河川課 ダム建設管理・足羽川ダム対策グループ

【お問い合わせ先】〒918-8239 福井市成和1-2111 ボラリスビル TEL (0776)27-0642(代) FAX (0776)27-0643  
https://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/ (足羽川ダム計画は、ホームページでもご紹介しています。)



## 足羽川ダム本体建設工事展望台 来場者数

### 令和3年度～ 広報施設来場者



ホームページから QRコードから アクセスしよう。

あなたの知らない工事現場へ

YouTube が案内します。

YouTube

スマートフォン用  
QRコード



channel  
Asuwagawa



あなたのアクセスを  
お待ちしております。

# 足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について

## ● 池田町地域振興策（池田町定住促進対策）【令和4年6月8日変更決定】

足羽川ダム建設による影響、急速に進む少子化や人口の流出など、池田町の人口減少に係る諸課題に対し、定住促進対策を主とする地域振興策を下記のとおり実施するものとする。

### 【人の誘致と定住の促進】

- ①就農移住者への支援
- ②若者起業者への支援
- ③町外若者獲得住宅の整備
- ④移住希望者への住宅提供・空き家物件情報の発信
- ⑤町内新築希望者への支援

### 【結婚定住の促進】

- ①多世帯住宅改修への支援
- ②結婚定住者への支援

### 【町内での子育て支援】

- ①育児・子育て世帯への支援
- ②町外高校進学者への通学の支援
- ③人づくり産業への支援

### 【観光の振興】

- ① 県内外の家族層を対象に、里山体験型テーマパーク「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」（ジップライン・アドベンチャーボート）等を整備
- ②池田町の自然環境や伝統文化に親しむツアーを実施

### 【産業の振興】

- ①町内6次産業商品の販路拡大
- ②百匠一品運動（6次産業化）の拡充（商品開発補助）
- ③安全安心な有機農業商品としてPRを強化し、町産品をブランド化

### 【水源地域の振興】

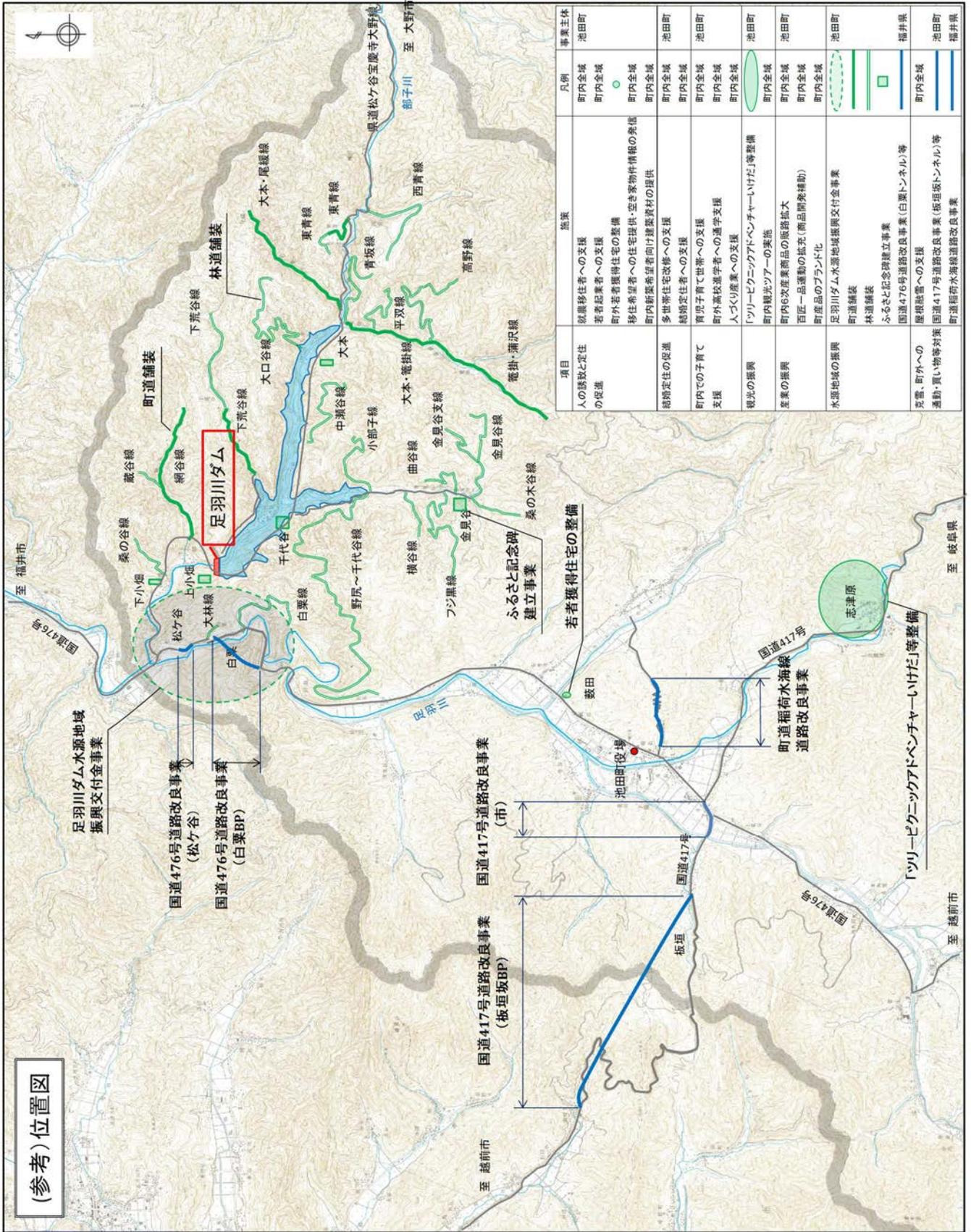
- ①足羽川ダム水源地域振興交付金事業
- ②町道・林道舗装、展望休憩施設整備事業
- ③国道476号道路改良事業（白栗トンネル）等

### 【克雪および町外への通勤・買い物等対策】

- ①克雪対策事業（屋根融雪）への支援
- ②安全・安心な道路確保（国道417号道路改良事業（板垣坂トンネル）等）
- ③町民の暮らし向上、能楽の里を生かした賑わい創出（町道稻荷水海線道路改良事業）

※ここに掲げる事業については、必要に応じ、国土交通省、福井県および池田町が協議のうえ見直しするものとする。

(参考)位置図



項目	施策	事業主体
人の誘致と定住の促進	就職移住者への支援 若者起業家への支援 町外若者獲得住宅の整備 移住希望者への住宅提供・空き家物件情報の発信 町内新築希望者向け建築資材の提供	池田町 池田町 池田町 池田町 池田町 池田町
結婚定住の促進	多世帯住宅改修への支援 結婚定住者への支援	池田町 池田町
町内での子育て支援	育児子育て世帯への支援 町外高校通学者への通学支援 人づくり産業への支援	池田町 池田町 池田町
観光の振興	「ツリーピークアワードベンチャーいけだ」等整備 町内観光ツアーの実施	池田町 池田町
産業の振興	町内6次産業商品の販路拡大 百匠一品運動の拡充(商品開発補助) 町産品のブランド化	池田町 池田町 池田町
水源地域の振興	足羽川ダム水源地域振興交付金事業 町道舗装 林道舗装 ふるさと記念碑建立事業	池田町 池田町 池田町 福島県
発電、町外への運動、買い物等対策	町道舗装への支援 国道476号道路改良事業(白粟トンネル)等 国道417号道路改良事業(板垣トンネル)等 町道舗装水路舗装道路改良事業	池田町 池田町 池田町 池田町